

魅力ある地域づくりを称える
手づくり郷土賞^{ふるさと}（国土交通大臣表彰）
～認定証の授与式を行います～

「手づくり郷土賞^{ふるさと}」は地域づくり活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するものです。

今年度は、四国地方から一般部門、大賞部門でそれぞれ1件選定されました。つきましては、認定証の授与式を以下のとおり実施します。なお大賞部門は、手づくり郷土賞2017で大賞部門グランプリを受賞していますので、グランプリの表彰も行います。

○一般部門

受賞団体：愛媛県立伊予農業高等学校

伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム

件名：重信川河口域の湿地環境保全～高校生の取り組み～

開催日時：平成30年2月19日（月）13:00～

開催場所：伊予市役所 4階大会議室（愛媛県伊予市米湊820番地）

○大賞部門

受賞団体：特定非営利活動法人アクア・チッタ、徳島県

件名：万代中央ふ頭（音楽が紡ぐ港の魅力発信）

開催日時：平成30年3月28日（水）11:30～

開催場所：徳島県庁 3階第2応接室（徳島県徳島市万代町1-1）

※認定証及び記念盾を、受賞団体へお渡しする予定です。大賞部門は、グランプリの表彰も行います。日時場所については、変更する場合があります。当日取材される場合は、事前に問合せ先までご連絡ください。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.3 美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト」の取組に関連します。

<問い合わせ先>

四国地方整備局 企画部 広域計画課

課長 福田 浩

課長補佐 木下 功

電話 087-811-8309（広域計画課直通）

国土交通大臣表彰「^{ふるさと}手づくり郷土賞」とは

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。平成29年度で32回目。

【一般部門】

地域の個性を創出している、良質な社会資本及びそれと関わりのある優れた地域活動を一体として表彰

【大賞部門】

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞したもののうち、一層の発展のあったものを表彰

(参考) 平成29年度手づくり郷土賞応募要領は以下のURLをご参照ください。

- <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/entry/boshuu/bosyu.pdf>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します

手づくり郷土賞選定委員会（平成29年度）

委員長	齋藤 潮	東京工業大学環境・社会理工学院 教授
委員	荻原 礼子	結まちづくり計画室 代表
委員	鈴木 伸治	横浜市立大学国際総合科学部 教授
委員	関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
委員	田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
委員	平野 龍平	富士急行株式会社 社長室アドバイザー
委員	由木 文彦	国土交通省総合政策局長

重信川河口域の湿地環境保全～高校生の取り組み～

＜活動主体＞愛媛県立伊予農業高等学校 伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム

＜対象となる社会資本＞重信川河口域
管理者：四国地方整備局松山河川国道事務所

自然再生にむけたワーキング会議



学生・地域住民によるヨシ植栽



GPSによるヨシの植生分布調査



ヨシ原再生事業の概要説明



春の重信川クリーン大作戦



小学生の環境学習



＜活動内容＞

重信川河口のヨシ原再生事業では、**計画づくりから、ヨシの移植、移植後のモニタリングに取組み、フォーラムや自然科学教室等で発表し、自然環境保全の重要性について啓発活動を行っている。**そのほか、洪水時に漂着した生活ゴミの収集や不法投棄された家電製品の撤去などを行うとともに、**地域のNPO等が開催する清掃活動にも積極的に参加している。**地域の誇るシンボルとして保全することにより、住民の憩いや小中学生等の環境学習、バードウォッチングの場として、**年間1万人が訪れる。**

ばんだい
万代中央ふ頭(音楽が紡ぐ港の魅力発信)

<活動主体> 特定非営利活動法人アクア・チッタ

<対象となる社会資本> 徳島小松島港万代中央地区(万代中央ふ頭)

ばんだい
管理者: 徳島県

継続して実施している清掃活動



水産市「アクア・チッタフェスタ」



全国倉庫サミットの開催



水際まちづくりビジョン策定のワークショップ



音楽花火でイメージソングを披露



近隣住民への事業説明



<活動内容>

人気も少なく近寄りやすい雰囲気であった倉庫街を、水辺の魅力を活かし、人が集い、交流が生まれる「港にぎわい空間」に再生しようと、清掃活動や水産市などの各種集客イベントの開催、まちづくりマスタープランの作成など様々な取組を行っている。また、当初は1日限りの開催であった水産市「アクア・チッタフェスタ」は、平成27年より2日間開催となり、平成28年には1万3千人を超える来場者となっている。地域の環境が快適に保たれた結果、付近の住民が散策したり、学生が景色を眺めたりする姿も多く見られるようになった。

手づくり郷土賞グランプリ2017の開催結果①

手づくり郷土賞グランプリ2017では、平成29年度手づくり郷土賞を受賞した全19団体からプレゼンテーションいただき、手づくり郷土賞選定委員会の選考により、大賞部門、一般部門それぞれのグランプリを決定しました。

また、グランプリのほか、会場参加者の投票により、ベストプレゼン賞も決定しました。

（概要）

- 日時 平成30年1月28日(日)12時30分～15時40分
場所 発明会館 地下ホール（東京都港区虎ノ門2-9-14）
内容 1)平成29年度「手づくり郷土賞」選定団体による活動プレゼンテーション(19団体)
2)グランプリ(大賞部門、一般部門)の発表、講評
参加者 約180人(参加団体、一般参加者等)

【平成29年度手づくり郷土賞選定委員会】

委員長	齋藤 潮	東京工業大学環境・社会理工学院 教授
委員	荻原 礼子	結まちづくり計画室 代表
委員	鈴木 伸治	横浜市立大学国際総合科学部 教授
委員	田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
委員	関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
委員	平野 龍平	富士急行株式会社 社長室アドバイザー
委員	由木 文彦	国土交通省総合政策局長

齋藤委員長による開会挨拶



グランプリの様子



受賞団体からの感想



■グランプリ2017(大賞部門)

特定非営利活動法人アクア・チッタ／徳島県

熱い思いをもって地域づくりに取り組んでいる方々が多くおられる中でグランプリを受賞できてうれしいです。自分たちの活動の特徴は皆楽しんで活動をしていること。だから継続できている。これからも活動の幅を広げていきたい。



■グランプリ2017(一般部門)

沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会

沼津を訪れる観光客に立ち寄っていただき、地域を盛り上げたいという思いだけで活動を推進してきた。そのことが評価されたことはとても励みになる。まだまだこれからの取り組みであり、引き続き頑張りたい。



■ベストプレゼン賞2017

球磨川ツクシイバラの会／錦町

ツクシイバラの花がきれいに咲くよう、また訪れた人が優しい気持ちになってもらえるよう清掃活動等を行ってきた。同じく活動してきた仲間と一緒にこのような賞を受賞できてうれしいです。